

記入要領（付表2：保育所等用）

給食数	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の4月第3火曜日の給食数について、それぞれの欄に記入すること。なお、4月第3火曜日が給食休止日の場合は、直近の給食実施日で報告すること。 ・また、当該届出施設以外へ給食・配食を行っている場合や、記載対象者以外に提供した場合は、「その他」にその対象と食数を記入すること。 ・合計の中に、間食は含めないこと。
給食材料費	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度6月、2月の1日1人当たりの食材料費を記入すること。 ・人件費、光熱費、消耗品等は含めないこと。
食事時刻	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれについて、通常の喫食開始時刻を記入すること。
栄養管理体制等	<ul style="list-style-type: none"> ・該当する項目を○で囲むこと。
栄養管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の6月と2月に実施した給食について記入すること。 ・エネルギーから食塩相当量までは、「給与栄養目標量」と月平均の「1日1人あたりの給与栄養量」をそれぞれ記入すること。 ・小数点以下の桁数は成分表に準じること。
提供した食事の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・該当するものを○で囲むこと。 有を選んだ場合には、その方法について該当するものを○で囲むこと。 ※食事内容の把握：利用者へ提供する食事全体の把握・評価状況を記載すること。喫食者アンケート結果や聞き取り、職員検食記録等を行っている場合に「有」とし、具体的な実施内容を記載する。
身体状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳以上児の状況について記入すること。 ・肥満並びにやせに該当する者の割合は、原則として前年10月の計測値から算出すること（経年変化を見るため、報告月は毎年同じ月であることが望まれる）。なお、10月以外の計測値を用いる場合は、△年△月現在と分かるように記載すること。 ・前年度報告には、前年度に報告した把握状況について記載すること。 ※幼児の肥満並びにやせに該当する者の割合の評価方法について <ul style="list-style-type: none"> ・幼児身長体重曲線による肥満度判定を用いること。 ・肥満度の判定区分のうち、「肥満」については+15%以上、「やせ」については-15%以下の児の割合を記入すること。 $\text{肥満度 (\%)} = \left[\frac{\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}}{\text{身長別標準体重 (kg)}} \right] \times 100$

身体状況の把握 (続き)	やせ		普通	肥満		
	-15%以下			15%以上		
	判定	やせすぎ	やせ	ふとりぎみ	ややふとりすぎ	ふとりすぎ
	肥満度	-20%以下	-20%超～ -15%以下	-15%超～ 15%未満	15%以上 20%未満	20%以上 30%未満
<p>身長別標準体重の算出式 (平成12年乳幼児身体発育調査結果に基づく)</p> <p>■男児 身長別標準体重=0.00206×身長²-0.1166×身長+6.5273</p> <p>■女児 身長別標準体重=0.00249×身長²-0.1858×身長+9.0360</p>						
衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれについて、該当する項目を○で囲むこと。 ・実施した場合には前年度の回数も記入すること。 (保存食については、保存日数を記入すること。) 					
災害発生時の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれについて、該当するものを○で囲むこと。 ・非常用食料等については、有の場合、園児・職員・その他を含めた数を記入すること。 					

保育所等用；保育所（保育園）、認定こども園